

ガイア・エヌピー 株式会社 （協同申請者：所河農場）

認定テーマ名：地元での栽培に適した薬草・ハーブを原料にした化粧品の開発製造と販売による地域の活性化

1. 認定を目指した経緯

ガイア・エヌピーは自然の素材を用いたスキンケア製品等の製造・販売を行っている会社であるが、横浜市港北区の自社工場が手狭になったことから第2の生産拠点を探していたところ、駒ケ根市から工場誘致の話を受けた。かねてから原料となる植物の栽培からすべて自社で手がけたいとの思いを持っていた同社では、工業と農業が一つの地域に隣接する形で存在するという立地の良さと、後継者不足などで農業の衰退が懸念されていた駒ケ根市が手厚い支援体制を取ってくれたことから、工場の建設を同市内に決め、同時に建設予定地区農業者のリーダー的存在である所河農場と、原料となる薬草の栽培とその製品化についての協議も開始した。

薬草は通常の農業には到底不向きな休耕地でも農薬などを使わず、高齢者でも容易に栽培が可能である。野生に近い状態で栽培した薬草を原料に、徹底的に自然素材にこだわった高機能なスキンケア製品を原料から一貫して開発・製造を行いたいガイア・エヌピーと、農業以外に地元でも農業者ブランドの化粧品を販売して地域の活性化につなげたいとする所河農場の思いが一致し、両者が連携して消費者の安全・安心志向に応えたスキンケア新商品の開発を目指すこととなった。

2. 認定事業の現況

認定事業開始直後に、駒ケ根市で栽培されたドクダミを使ったフェイスクケア製品を先行開発し、アグロビオというブランドで販売を開始した。

一年後に、日本政策金融公庫から、農商工連携事業の認定を受けた中小企業者向けの無利子融資である農業改良資金を借り入れ、駒ケ根市に製造拠点となる新工場を建設し本格生産を始めた。この新工場建設に加えて物流拠点新設等、事業認定による直接の地域貢献として、30名以上の新規雇用創出も実現している。



駒ケ根市へ新設した新工場と化粧品製造現場

認定事業で開発した商品は、アマゾン等、ECサイトでの販売を基本に販路開拓を推進しているが、商品購入者のネットでの口コミ評価が高く、着実にアグロビオ化粧品のファンが拡大している。

平成27年8月から投入した、ドクダミのヘアケア製品の、シャンプーとトリートメントシリーズ「GAIAMEDI」も、ガイア・エヌピーの既存商品の知名度から販売は好調で、来年9月決算では、認定事業計画である、年間売上目標6千万円達成も確実である。

地域への貢献でも、駒ヶ根市にあるリゾートホテル「駒ヶ根リゾートリンクス」において、同ホテルと共同し、アグロビオシリーズの宿泊プランへの組み込み、売店での販売のほか、女性用温泉の更衣室に無料使用サンプルを提供。商業施設との協力体制の確立を図り、駒ヶ根産化粧品認知度向上に貢献している。

一方、所河農場は、工場近くの農場に自生するドクダミやユキノシタ等の薬草の自然栽培から着手し、現在では、農園での栽培も軌道に乗っている。



ドクダミの花

ドクダミの栽培

ドクダミの収穫

更に、所河農場では、薬草の提供だけでなく、ガイア・エヌピーが開発した、アグロビオブランドの化粧品を農業者ブランドとして販売を開始した。商品の販売にあたっては、駒ヶ根市とガイア・エヌピーの支援で、地元南信州の販売店11店舗の販売店を開拓し継続的な販売を行っている。

他にも、地元の創業希望者が、農商工連携で開発した『徹底的に自然素材にこだわった高機能なスキンケア製品』の活用をキャッチコピーにして、地元で美容院を創業(国の創業補助金申請)するなど、事業認定による波及効果は、他業種も含めて地域で拡大している。

<農商工等連携事業での開発商品>



ナチュラルクレンジングミルク

ナチュラルフェイスウォッシュ

ナチュラルモイストローション

ナチュラルデイケアクリーム

3. 今後の展望（見通し）

認定事業の実施で、農商工の連携スキームのベースが確立され、ドクダミをはじめとした地元産ハーブを使った他製品への開発も加速している。今後の展開として、フェイスクケア製品、ヘアケア製品に続いて、ドクダミ等薬草入り石鹸の開発が終了し、中小機構の施策活用アドバイスで申請・採択された、ものづくり補助金を活用して、所河農場で栽培した薬草を原料に石鹸製造の為に設備投資を実施し、平成28年5月から製造を開始する。石鹸事業参入で、雇用創出は、10名程度を予定している。

更に、所河農場で栽培した薬草を使った、ハーブ健康食品などへの展開へ向け、専任者1名を新たに雇用し事業化へ向けて準備中である。

既存の販路を活用したヘアケア製品が当面販売の中心となるが、先行発売した、フェイスクケア製品の認知度・ブランド力も向上し、自然素材にこだわった高機能なスキンケア製品全体の事業は確実に拡大する見通しである。

所河農場は、ガイア・エヌピーの事業拡大に伴い、スキンケア製品の原料である、ドクダミ等の薬草・ハーブについて、地元中沢地区の農家と連携し遊休耕作地での栽培を拡大させる。

農業ブランドのスキンケア製品の販売については、駒ヶ根市とガイア・エヌピーが担当者1名を配置して支援体制を強化しており、地元ブランドとしての定着と、売上拡大をめざしている。



4. 利用した中小機構の支援策

ガイア・エヌピーの販路は、一部直売店はあるものの、大半は、ECサイトや代理店を通じた販売で、事業成功には、ブランドの情報発信力強化が不可欠であり、農業者にとっても化粧品販売は初めての経験であることから、商品の認知度向上に向けた情報発信は必須であった。

その為に、中小機構登録のITの専門家を派遣し、ガイア・エヌピーと所河農場のIT環境の整備を行い、認定事業専用のHP (<http://agro-bio.jp/>) を開設し情報発信を行った。

ガイア・エヌピーのECサイト活用では、派遣したITの専門家が、アマゾンにおける販売促進において、紹介文言の添削や広告の利用方法、有効的な口コミの醸成などを図る方法などを指導し、その結果、アグロバイオシリーズの口コミは5点満点中4.3点という高評価を獲得した。

ドクダミを使ったヘアケアシリーズ「GAIAMEDI」では、アマゾンでの販売戦略に加え、実店舗での販売戦略にも言及し、アマゾンでの口コミ点の高評価に加え、高付加価値商品の販売に特化した実店舗への販売戦略をとることで、相乗効果が得られた。その結果、平成27年8月から発売したドクダミのヘアケア製品の販売量は飛躍的に増大し、28年度8月決算で、認定事業計画達成見通しの原動力となった。



ヘアケアシリーズ「GAIAMEDI」製品の東急ハンズでの販売コーナー

5. 企業概要

事業者名	ガイア・エヌピー 株式会社		
本社所在地	東京都渋谷区猿樂町1-1-6		
ホームページアドレス	http://gaia-np.com/		
設立年月	2000年6月		
資本金	10,000千円	従業員数	50名
売上高	全体 760,000千円、	認定事業の売上高	非公開

※平成27年8月31日現在

6. 認定事業の概要

テーマ名	地元での栽培に適した薬草・ハーブを原料にした化粧品の開発製造と販売による地域の活性化
テーマの概要	<p>日陰・中山間地での栽培に適した、ドクダミやユキノシタ等の薬草を、農業者の地元の休耕地で栽培し、農業者の高齢化・後継者不在による遊休荒廃地の活性化に寄与する。</p> <p>栽培した、摘みたて、生の新鮮な薬草を原料として、スキンケア製品を開発・製造し、新ブランド化粧品として発売する。</p> <p>新ブランドでは、防腐剤なども含め全ての材料を天然由来のもので統一する。</p> <p>ブランドは、全国展開するガイア・エヌピーの自社ブランドと、農業者が発売元となる地域展開向けの農業者ブランドの二つである。</p> <p>所河農場の薬草農園近くにある、ガイア・エヌピーの自社工場では資材の調達から開発、製造、品質管理、商品発送まで、一貫して行う。</p>
認定期間	平成24年6月1日～平成27年8月31日